



立川市民オペラ公演 2015 歌劇「愛の妙薬」

2015年3月14日(土)、15日(日) たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 大ホール

雨期を迎え、ジメジメ、ムシムシに嫌気がさしていませんか？ でも一歩外へ出てみると紫陽花がきれいに咲き誇り、水を得た樹々は一段と**おおさ**を増し、自然はいきいきと活気づいています。晴れた日に梅雨の合間の幸せを探しに外へ出かけてみませんか。

オペラ合唱団より

「愛の妙薬」の稽古が4月から始まり、新入団員も増えました。4月、5月は全2幕のうち第1幕を練習しています。毎回、森口賢二先生のディクションがすばらしく、歌詞を声を出して読んでみると音楽を感じます。「愛の妙薬」の持つ活気もあり、練習が楽しくてたまりません。テンポを早めにして歌うと、まだ言葉がうまく入らないところが多いのですが、練習に励み、なめらかに歌えるように頑張ります。8月には演出家ご自身が演技指導に来てくださると聞き、今から期待でいっぱいです。



ディクション (仏:diction)

朗読、演劇、声楽などにおける言葉の発音法、特に歌曲などの詞の発音のしかた。

立川オペラ愛好会より

6月15日(日)午後2時からRISURUホールで開催される立川オペラ愛好会主催第4回オペラガラコンサート「名歌手たちの夢の饗宴」は、出演歌手たちが歌いたい曲満載のプログラムも決まり、いよいよ開幕間近かになりました。チケット販売も皆様のご協力で好評発売中ですが、もう一息頑張りたいところです。日本の最高峰の8人の歌手の華麗なステージに、どうぞ皆様お出かけください。



立川管弦楽団より

現在第66回定期演奏会に向けて練習中です。**7月13日(日) 13:30開場 14:00開演。**
たましん RISURU ホール (立川市市民会館)
曲目は **チャイコフスキー 交響曲第1番 ト短調「冬の日の幻想」** **ビゼー アルルの女 第2組曲** **リスト 交響詩「前奏曲」**です。ご期待ください。

7月7日(月) 歌劇「愛の妙薬」のソリストのオーディションが たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 大ホールで開催されます。

アディーナ(S) 地主の娘、ネモリーノ(T) 村の若い農夫、ベルコーレ(Br) 村の守備隊の軍曹、ドゥルカマーラ(Bs) いかさま薬売り、ジャンネッタ(S) 村娘 が応募者の中からWキャストで選ばれます。立川市民オペラへの関心度が高まり、毎回大勢の応募があります。厳しい審査の結果選ばれるのはどのような人達でしょう、結果の発表が楽しみです。

※ 募集要項詳細は、立川市民オペラの会ホームページからご覧いただけます。



連載「知っている面白くなる」

英雄的悲劇的な要素が強い「アイダ」については、庶民的喜劇、ドニゼッティの「愛の妙薬」です。初演一ヶ月前の突然の依頼に、急遽台本を用意し、2週間という短期間で作曲されたのですが、随一の名アリア「人知れぬ涙」の挿入については台本

作家と意見が合わなかったそうです。最終的にはドニゼッティの意見が通り大成功を収めます。現在、この作品はオペラブッフア(喜劇)の傑作とも言われておりますが、もし彼が主張を取り下げていたらオペラの歴史の中に埋もれていたかもしれませんね。

H・S